

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
精神看護学実習	前後期	3年次	必修	2単位	90h
担当教員名	メールアドレス		オフィスアワー		
◎野田義和 及川江利奈	yoshikazu.noda@tohto.ac.jp erina.oikawa@tohto.ac.jp		事前にメールで予約		
授業の概要					
<p>精神疾患を有する人との関わりを通し、対象理解や自己理解を深めながら、その人らしく生きるための看護や支援について学修する。また、精神保健医療福祉チームにおける多職種連携についての理解を深め、精神疾患を有する人の地域生活の質の向上と社会参加の支援に向けて看護師が担うべき役割について学修する。</p> <p>※この科目は看護師の実務経験のある教員による授業科目です。</p>					
キーワード	到達目標				
精神障がい 精神の健康 精神保健医療福祉チーム 多職種協働 社会資源	<p>1. 精神疾患を有する人について理解を深めることができる。</p> <p>2. 精神の健康が生活に及ぼす影響について理解・アセスメントした上で支援方法を考えることができる。</p> <p>3. 精神保健医療福祉チームにおける多職種協働や社会資源、地域移行について理解を深めることができる。</p> <p>4. コミュニケーションによる自己や他者、相互関係の理解を深めることができる。</p>				
学習内容					
<p>1. 実習場所：精神科病院</p> <p>2. 対象：精神科病院に入院し、治療あるいは療養生活を送っている人</p> <p>3. 実習時間：原則、9:00～16:00</p> <p>4. 実習内容</p> <p>1)実習初日オリエンテーション（実習にあたり留意事項の確認、事前課題の確認など）を行う。</p> <p>2)学生一人につき一人の患者を受け持ち、看護展開を行う。</p> <p>3)精神科リハビリテーション（デイケア見学や作業療法など）に参加する。</p> <p>4)患者との治療的援助関係の構築および発展、援助者としての自己の課題の明確化するために、プロセスレコードを用いて自己理解、対象理解を深める。</p> <p>5)多職種連携の実際を見学し、学びを深める。</p> <p>6)地域移行するために必要な社会資源を学ぶ。</p> <p>6)学びを共有するためのカンファレンスを実施する。</p> <p>詳細は、「2026年度 精神看護学実習 実習要項」を参照すること</p>					
受講要件					
2年次後期までの先修条件を学生便覧で確認し、すべての必修科目の単位を修得していること					
レポート	その他		合計		
0%	100%		100%		
教員からのメッセージ					
<p>精神看護学概論や精神看護学援助論、看護カウンセリングおよび近接領域の科目を中心に復習をしておいてください。</p>					